

様へ

説明医師

説明看護師(外来)

看護師(病棟)

月日	月 日	月 日	月 日
経過	入院日 (手術前日)	当日(術前)	当日(術後)
目標	○心身ともに安定した状態で手術を受けられる ○治療に対する不安を表出できる		○麻酔合併症がない ○離床できる ○呼吸困難がない ○ストレッチが積極的にできる ○出血がない ○疼痛がない
検査	・身長、体重測定 ・動脈採血		・採血 ・レントゲン撮影
食事	・夕食後絶食、21時以後絶食 ・経口補水液は、麻酔科の指示で服用	絶食	朝より食事再開
処置・観察	朝食は自宅		
	リストバンドを装着します(退院日まで) 弾性ストッキングのサイズを測定し、お渡しします 手術部位にマーキングを行います	点滴の針を留置します 時間になれば看護師が手術室にご案内します	手術後以下の挿入物装着物があります ・酸素マスク → 酸素チューブに変更 → 取り外します ・心電図モニター → 取り外します ・点滴の管 → ・創部の管(ドレーン) → ・尿道カテーテル → ・フットポンプ → 取り外します (血栓予防) (必要時) 吸入します
	状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります		
点滴・内服	持参薬、お薬手帳を看護師にお渡しください 眠前下剤を服用します	手術室で点滴を開始します(手術が午後の場合は、病棟で点滴を開始します)	以下を内服します ・消炎鎮痛剤 →
行動・リハビリ	シャワー浴、洗髪をします	以下の手術準備をします ・手術着に着替え ・弾性ストッキング装着 ・入れ歯、アクセサリ、時計等の取り外し	午前中全身清拭し、手術着からパジャマに着替えます
	制限はありません ・呼吸練習を行います	翌朝までベッド上安静です	付き添いのもと、リハビリを開始します(歩行訓練、呼吸練習)
説明	医師・麻酔科医より説明(外来又は入院時) ・治療計画について ・手術について ・麻酔について 病棟・手術室・集中治療室看護師より説明 ・入院生活について(パスシートを使用) ・手術について ・集中治療室について 薬剤師より ・持参薬確認 ・使用薬剤について	医師より説明 ・手術結果について 看護師より説明 ・術後の注意点について ・安静について ・下肢運動について ・痛み止めの使用方法について	

*** 入院に際して、この用紙を必ずお持ちください**

* 入院時に栄養状態を評価して栄養管理計画を立てます。定期的に栄養状態の再評価を行い計画を見直します。
 * この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により、予定通りではないこともあります。

月日	月 日	月 日	月 日	月 日						
経過	術後 2 日目		術後 3 日目		術後 4 日目		術後 5 日目 (退院日)			
目標	○麻酔合併症がない ○呼吸困難がない ○出血がない ○疼痛がない ○胸の管が抜ける ○離床できる ○ストレッチが積極的にできる						○退院後の療養生活について理解できる			
検査	レントゲン撮影		レントゲン撮影		レントゲン撮影					
食事	退院日は朝食のみ									
処置・観察	以下の挿入物があります ・酸素チューブ → 取り外します ・点滴の管 → 抜去します ・創部の管 → 術後 2~3 日で抜去します (空気漏れがある場合は、止まるまで留置します) ・尿道カテーテル → 抜去します								退院時にリストバンドを外します	
	創部を観察、処置を行います →									
	(必要時) 吸入します →									
状況に合わせて、体温・脈拍・血圧・酸素飽和度を測ります										
点滴・内服	以下を内服します ・消炎鎮痛剤 →									
行動・リハビリ	尿道カテーテル抜去後トイレで排尿できます		創部の治癒状況に合わせてシャワー浴を再開します (週 3 回、病棟毎で日が異なります)				(退院日) 朝食後退院です			
	リハビリを継続します (歩行訓練、呼吸練習) →									
説明	医師より説明 ・退院後の治療計画、療養上の留意点について 看護師より説明 ・退院後の療養生活について (退院療養計画書をお渡しします)									

